



**未来に
責任を持つ政治**

千葉県第12区 自由民主党公認



浜田 靖一 やすかぞ

〈選挙区 千葉県第12区 当選回数 7回〉

<http://www.office-hamada.jp>

昭和30年 10月21日千葉県富津市に生まれる
昭和49年 千葉県立木更津高等学校卒業
昭和55年 専修大学経営学部経営学科卒業
平成5年 衆議院議員選挙初当選
平成15年 防衛庁副長官(第一・第二次小泉内閣)

平成20年 防衛大臣(麻生内閣)
平成24年 自民党国会対策委員長
平成24年 自民党幹事長代理
平成26年 自民党国際局長

比例代表も

自民党へ



未来に責任を持つ政治

日本の平和と自主独立を守るために

我が国は、米国を始め、自由や民主主義、人権、法の支配といった基本的価値を共有する国々と手を携えながら、世界の平和と安定にこれまで以上に取り組んでいく必要があります。また日本を取り巻く東アジアの不安定な状況の中で、いかなる事態にあっても、国民の命と平和な暮らしは守り抜く。その決意の下、自衛隊法の整備等の切れ目のない安全保障法制の整備を進めて行くことが重要だと思えます。

ご挨拶

私は、ふるさとの皆様の温かいご支援のもと、衆議院議員として7期連続当選を果たさせていただき在職20年を超えました。

今回、8度目の出馬を決意するにあたり、以前にも増して、この国の未来に対する責任をひとりの政治家として強く感じております。

子供たちや孫たちの時代の日本を想うとき、政治の課題はあまりにも多く重いものであることを実感しているからです。

現在の我が国の状況において、国民の生活を守るための経済政策の舵取り、我が国の平和と自主独立を守るための外交及び安全保障政策、少子高齢化という現実の中で、高齢者の皆様、現役世代の皆様に安心していただける社会保障政策の実現、この国の活力と繁栄を失わないための地方創生や女性の社会進出を促すための諸政策、国民の命を守るための防災対策など日本の未来に責任を持てるのは、わが自由民主党であり、現在の自公政権であると私は確信しております。

皆様のご支持により、私も国および党内に置かまわしていただき発言権を獲得させて頂いている今だからこそ、国民の皆様、特にふるさとの皆様に全力でご恩返しをさせて頂きたいと決意も新たにしているところであります。

どうか私の真情をご理解いただき、今回の選挙戦に置かまわしても温かいご支援を頂けるよう心よりお願い申し上げます。

浜田 靖一

地域を元気に

地域を元気にする事が日本の活性化につながります。つまり私たちのふるさとで多くの方々が従事する農林水産業・中小零細企業を守るこそが日本を守る事です。浜田靖一は、ふるさとの皆様の生活に少しでもゆとりが生じるように全力を尽くします。また市町村が直面する財政的な問題は国の助けなしには解決できません。

安倍政権が地方創生に真剣に取り組もうとしている今、浜田靖一は国とふるさとの市町村の間のコーディネーターとしての役割に精力的に取り組めます。

持続的な社会保障制度の確立を

国民のみんなが安心できる持続可能な社会保障制度に向けて、自助・自立を第一に、共助と公助を組み合わせ、持続可能な社会保障制度の構築を目指します。また、障害者などの弱い立場の人には、しっかりと援助の手を差し伸べていきます。税や社会保険料を負担する国民の立場にたつて、不公正な生活保護の見直しやパラマキを阻止し、社会保障制度について必要な見直しを行い、公平な制度づくりを進めます。

教育は国家の基本

将来を担う子どもたちは、日本の宝です。全ての子どもの健全な成長と安全の確保が大切です。教育再生を断行し、世界トップレベルの学力と規範意識、歴史や文化を尊ぶ心を持つ子供たちを育みます。また、待機児童解消加速化プランを展開し、保育の質を確保しつつ待機児童解消を図ります。さらに教育行政の責任体制の明確化、専門家との連携強化などを図り、「いじめ問題」に的確に対応できる体制づくりを進めます。



自民党国際局長としてベトナム共産党訪日団と会談



*木更津やうさいもっさい*連長として

浜田靖一 選挙事務所

〒292-0056 千葉県木更津市木更津973番1

TEL.0438-23-5432

FAX.0438-22-3911

<http://www.office-hamada.jp>

自民党

信頼と責任の政党自由民主党にご期待下さい。

県議会議員(君津市)

川名寛章

県議会議員(富津市)

吉本 充

県議会議員(館山市)

秋山光章

県議会議員(鴨川市)

亀田郁夫

県議会議員(南房総市・安房郡)

木下敬二

県議会議員(袖ヶ浦市)

江野澤吉克

千葉県第12区

